

げんき

八王子センター元気広報



発行：八王子センター元気
(八王子市高齢者活動コーディネートセンター)

代表：伊藤 涼子

〒192-0062 八王子市大横町 11-35

大横保健福祉センター 3F

TEL/FAX：042-627-9179

<http://homepage3.nifty.com/centergenki/>

げんき 50 号記念特集号

八王子センター元気の歴代代表 4 人に発足経緯、広報紙 50 号に寄せてなどの思いを伺いました

初代代表 (故)大岡 平八郎 (H14/8～)

相談役 富永 哲夫

(大岡様は故人のため、富永様さんに伺いました)



平成 12 年頃、既に活動中の「八王子ボランティアネットワーク」の代表者を中心に議論し、大岡さん、梅沢さん、野村さんと私で、八王子市の協力を得て活動をスタート。日野原重明先生をお迎えして記念式典を開催した。

当時の黒須市長も式典に出席

され、今後高齢者が増えていく中、その人たちの活動の場が必要等の趣旨を理解していただき、是非協力しましょう、との経緯で旧結婚式場に活動場所を設置して今に至っています。愛称「八王子センター元気」もその頃名付けました。

2 代目代表 鹿又 ワカ (H19/4～)

「げんき」創刊号の編集会議で「先ず表題は代表挨拶でしょう」に対し大岡代表が「誰もが読む気に



成る様な紙面作りが重要だ」と一蹴し、当時珍しかった「自分史つくり」の記事を掲載したのです。どんな素晴らしい内容でも読んで貰わなければ意味が無い。正に広報紙編集の原点です。比較的情報に疎いと言われる高齢者には私達の気配りが必要だと思います。話題が

豊富で役立つ情報満載のセンター元気自慢の「げんき」を多くの皆様に届けましょう。一人でも多くの読者が興味を持ち次号を待たれるように「げんき」を応援しています。

3 代目代表 狩野 雄一郎 (H21/4～)

「八王子市高齢者活動コーディネートセンター」が開設されて今年で 14 年目、広報紙「げんき」も 50 号となりました。時の流れの



早さに驚いている次第です。創設時代の「げんき」を見るたびに編集に当たられた当時の先輩諸氏のご苦勞が偲ばれます。ここ数年「げんき」は紙面体裁内容とも大きく変わり明るく、ビジュアルになり読み易くなり、編集関係者の

皆さまのご尽力に感謝申し上げます。これからの「げんき」はボランティア登録人員増加と活動が多岐にわたっている現在、的確な情報発信と広く八王子市民への八王子センター元気の諸活動をPRして、市民の参加と利用を促し、読んで元気が出るような明るい紙面作りを期待しております。

4 代目代表 伊藤 涼子 (H25/4～)

初代大岡代表、八ボネット梅沢様から沢山の大切なことを教わりました。そして思いがけない代表と



いう立場、3 年も勤めさせていただきました。その間に心和む手書き風広報から、現在の基本となるモノクロ広報、そして写真満載のカラー刷り広報の発展は目覚ましいものです。広報に中心に関わった本間さん・山口さん・柴田さん・北原さん・そして現在の鈴木

さんと歴代の広報に関わった皆さまに心より感謝と拍手を送ります。同時にセンター元気のホームページも長い間閉門でしたが、とても見やすくなりました。けれども、これに満足せず、奇数月発行で年中多忙な広報部署、51 号からの広報の充実発展にも期待いたしております。

八王子センター元気は、八王子市から委託を受けて 高齢者の社会参加を支援するボランティア団体です。
「げんき」は八王子センター元気が発行しています。 発行日：奇数月 15 日。年 6 回発行



広報「げんき」

～トップ記事で綴る変遷～

創刊号平成 15 年 9 月

25 号平成 23 年 11 月

平成 15 年 9 月発行
 八王子市高齢者活動コーディネーターセンター
 (読者：センター+友だち)
 〒182-0002
 八王子市大滝町 11-35 (大横福社センター内)
 TEL & FAX 0426-27-9179
 E-mail center@777city.com

ばんき

ボランティア活動の事例紹介

「自分史づくりへの応援」

センタ「元氣」には、自分の特技、趣味、豊盛な縁などを生かしたいと、現在生計を立てながらボランティア活動の指導者として登録されている。福祉施設や団体に会い、必要書類が揃えば、登録者の中から紹介をされています。

北沢川に沿った川口町の東方に、特別養護老人ホーム「陽陽園」があり、多くのこの年寄りが暮らしています。

今年三月、ここで働いた職員から「自分の人生の記録を残しておきたい。人生の長短は長短で被爆し、その体にも含めた自分史をつくりたい」と、聞き書きボランティアを紹介して「元氣」に申し込みました。

「自分史づくりのお手伝い」として登録者の鹿又ワカさん、青島蘭さんに赴き、希望者の本田シズ子さんと園長や職員と会い、三月分の間繰り返し足を選び、本田さんの話を聞き、年表を作成したらしいのでこのほど、自分史「生きるとが輝く」の絵、表紙、製本、校正、印刷、の絵、鹿又さん、本田さん、のほかに

「自分史づくりのお手伝い」として登録者の鹿又ワカさん、青島蘭さんに赴き、希望者の本田シズ子さんと園長や職員と会い、三月分の間繰り返し足を選び、本田さんの話を聞き、年表を作成したらしいのでこのほど、自分史「生きるとが輝く」の絵、表紙、製本、校正、印刷、の絵、鹿又さん、本田さん、のほかに



ボランティア活動の事例紹介
「自分史づくりへの応援」
15 号平成 20 年 10 月

第25号

げんき

平成23年11月15日発行

八王子センター元気

(八王子高齢者活動コーディネーターセンター)

代表者： 野﨑 一郎

T 192-0062 東京都八王子市大横町 11-35

電話/ファックス： 042-627-9179

http://homepage3.nifty.com/centergenki

第7回 講師・コーディネーター懇談会開催さる!

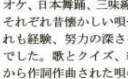
さる10月19日(土)、八王子センター元気主催の「講師・コーディネーター懇談会」が、北野市民ホール第1会議室に68名の参加を得て開催されました。今回は、登録された講師・技能ボランティアの技術内容の披露、紹介に焦点が絞られ、コーディネーターで講師登録している人の技術披露は行われませんでした。

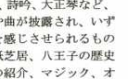
パフォーマンス披露の技能ボランティアは13名、制作作品を展示しながらの自己紹介が6名、登録内容の説明が10名、約3時間を経て講師・技能ボランティアの紹介に充てるといって、これまでとは全く異なった形式で行われました。時間の関係で講師・技能ボランティアとコーディネーター間の意見交換の時間が殆ど取れなかったことは真に残念なこと、今後の課題として残されましたが、参加者からは既好感を持って迎えられたようでした。

披露されたパフォーマンスの内容を、少し紹介してみよう。そして健康法を意図しての「歌と呼吸トレーニング」では、何人も納得させるトークが展開されました。また、カフ









第7回 講師・コーディネーター懇談会
開催さる！
37号平成25年11月

(1) 第15号 げんき 平成20年10月

明治・大正・昭和が集う 「歌の会」

第37号 げんき	平成25年11月15日発行 発行：八王子センター元氣 (八王子市障害福祉サービスセンター) 代表：伊藤 淑子 編集：八王子センター元氣広報担当 〒192-0062 八王子市大横町 11-35 大原印刷福祉センター 3F TEL/FAX : 042-627-9179 http://homepage3.nifty.com/centergenki
--	--

「むかし若ものふれあい作品展」開催近づく

事務所も変遷しました

旧大横福祉センター1F事務所



事務局入力風景

旧大横保健福祉センター3F 事務所



サロンで



シャンデリアの下で打合せ

新大横保健福祉センター
3F事務所





八王子センター元気の今とこれまで

ザ・げんき！

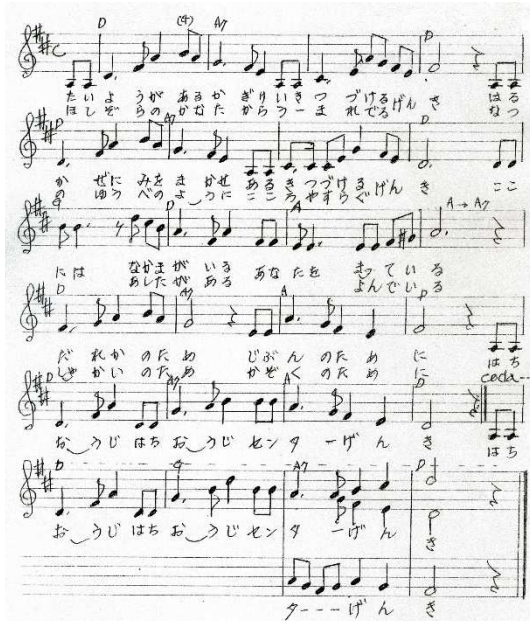


八王子センター元気の歌

作詞・作曲 伊藤涼子

太陽がある限り 生き続ける元気
 春風に身を任せ 歩き続ける元気
 ここには仲間がいる あなたを待っている
 誰かのため 自分のために
 八王子 八王子センター元気

星空のかなたから 生まれでる元気
 夏の夕べのように 心安らぐ元気
 ここには明日がある あなたを呼んでいる
 社会のため 家族のために
 八王子 八王子センター元気



グラフで見る八王子センター元気の推移

